

8月2日「週報」より

\* 感染症が「再拡大」しつつあります！

「神奈川アラート」発令中。予断を許さない状況です。教会としては、安心して礼拝できる場を確保すると共に、家族や地域など社会に対する信頼を守る必要があります。状況を総合的に判断して、「予防的措置」として分散礼拝や礼拝出席自粛を要請することもありますので、「承知おきください」。

※季刊付録「コロナ対応履歴」（吉岡兄作）を配布しました。先週の季刊と併せてお読みください。

\* 礼拝出席について

- ① マスク、手指の消毒をお願いします。（マスクは賛美歌を歌う時も！）
- ② 座席は、黄色いシールのあるところ（交読詩編の置いてある正面）にお座り下さい。
- ③ なるべくお話は控え、会釈で「挨拶」を。

8月9日「週報」より

\* 感染症が「再拡大」しつつあります！

教会の対応の詳細については、別紙「新型コロナウイルス感染症」『第2波』に備えて」（略称「六角橋アラート」）をよくお読みください。

◇ 「分散礼拝」再開

本日より「分散礼拝」を再開します。今週は、「六角橋」・「緑区・青葉区・都筑区」・「市内」の方々です。

※ この週報をお忘れなくお持ちください。

◇ 礼拝出席について

お一人おひとり、くれぐれも体調には気を付け、決して無理をなさらないでください。

念のために、今週から教会の入口で体温を測らせていただきます。万一、熱があると思われる方には、出席をご遠慮いただきますので、どうぞご了承ください。また献金の際は、接触の機会を抑えるために、今週から「長い柄のついた献金かご」を用いますので、通路側にお寄り下さい。

## 8月16日「週報」より

(8月23日～9月6日も同じ内容)

**\* 感染症 第2波 にそなえて**

今週の「分散礼拝」は(会員名簿の)「港北区・「県内」の方々です。※この週報をお忘れなくお持ちください。

- 教会の入口で体温を測らせていただきます。万一、熱があるとわかった方には、出席を「遠慮いただきますので、どうぞご了承下さい。」
- 献金の際は、接触の機会を抑えるために、「長い柄のついた献金が」を用いますので、通路側にお寄り下さい。
- 六角橋アラートをよくお読みください。

## 9月13日「週報」より

※今週の「分散礼拝」は(会員名簿の)「神奈川区・「東京」・埼玉・千葉他」の方々です。なお、先週6日(日)の役員会で、「分散礼拝」を継続することが決まりました(9月20日～10月25日まで)。

(以後、1月10日まで、六角橋アラートにもとづき、3分割の分散礼拝を続け、毎週の出席地域を週報でお知らせ。)

## 10月11日「週報」より

※10月11日の「分散礼拝」は(会員名簿の)「六角橋・緑・都築・青葉区・市内」の方々です。分散礼拝は、今年いっぱい(12月27日)まで継続することが、役員会で決まりました。(詳細は、同封の「役員会報告」をよくお読みください。)

## 12月6日「週報」より

(12月13日も同じ内容)

コロナ感染症が急拡大しています。役員会としても、推移を注視しつつ、たとえアドベント・クリスマス期間であっても、状況によっては、政府・行政の方針にかかわらず、躊躇なく「礼拝出席の自粛」を決定します。その際は、教会連絡網および教会HPにてお知らせいたします。

【感染症第3波下のクリスマス礼拝】

感染症が再度急拡大してきました。不安が募るなか、「降誕日および燭光礼拝はどうなるのだろうか」「出席してもいいのかしら」と思っておられることでしょう。役員会は、「降誕日礼拝および燭光礼拝」について協議した結果、以下のとおり判断いたしました。

【1】 感染症拡大は、再度「危険水域」に入っていると認識。

【2】 しかし礼拝は、8月以来、感染症対策を徹底し、座席数は収容可能数の25%以下にして3密を回避し、「レベル4」で続けているので、降誕日礼拝および燭光礼拝も、リスクに対する意識と対策をさらに徹底して開催。

【3】 ただし、教会への移動には大変な危険が伴うので、健康面はもちろん、公共交通機関での移動について、少しでも不安のある方は、ぜひ「自宅」で礼拝を守ってください。

【4】 もしご家族が少しでも心配されている場合は、どうかご家族の思いに添えて、礼拝出席は控えてください。

【5】 出席される方は、以下のことに充分留意してください。

\* 手指消毒のさらなる徹底。

\* 聖餐式は、司式者の指示にしたがって受ける。

\* 飛沫感染の危険がある会話はできるだけ控え、挨拶も会釈程度に。

\* 賛美歌小声で、互いの声を聞き合おう。

\* 礼拝前後も玄関先での滞留は控える。①近所にも心配をかけるので。

\* 飲食は、会堂内はもちろん、帰りがけも、できるだけ控える。

\* 礼拝奉仕者など、飲食が必要な場合も、座席を離して会話は控える。

(以上)

## 12月末以降の「教会HP」より

■コロナ禍の礼拝について「出席地区については下に」■

★感染症が再度急拡大し、六角桶教会としては「危険水域に入った」と認識しています。

ただ、礼拝については、8月以來、出席自粛の1歩手前となる「レベル4」を継続し、以下のことを徹底してきました。

\*感染症対策（消毒、マスク着用、換気）

\*3密回避（とくに座席数は50%以下）

■ 一般礼拝（1/3）も、一層の危機感と緊張感をもっていました。

★ただし、こうした状況になりましたので、健康面はもちろん、公共交通機関での移動について、少しでも不安のある方は、ぜひご自宅でお礼拝してください。

★また、ご家族が少しでも心配されている場合は、どうかご家族の思いに添えて、礼拝出席はお控えください。

## 1月10日「週報」より

\*「緊急事態宣言」再発令をめぐって

新型コロナウイルス感染症、第3波は、今もつて拡大が収まりません。政府も、1月7日（木）に「緊急事態宣言」を再度発令すること。内容を精査しないと、教会としての対応が決められませんが、1月10日（日）は礼拝を予定しておりおこない、午後の役員会で具体的な対応を決定いたします。

「礼拝出席自粛」を再びお願いする場合には教会連絡網で、それ以外の場合には来週お届けする週報他に決定内容を明記してお知らせいたします。

なお、この感染状況を受け、クリスマス直前の連絡網でお願いした「高い危機意識と厳しい感染症対策」を、引き続き大切に考え、礼拝出席の是非は、くれぐれも慎重にお考えください。健康にご不安のある方、公共交通機関をご利用の方、特に具をまたいだ移動、横浜駅など混雑する場所を通らなければならない方、役員や日曜学校教師、また礼拝奉仕者も、決して無理なく。

今月予定されている委員会等についても、開催する場合は短めに、また書面決済もご利用ください。